

(おぎくぼえききたぐち)

NO.11 荻窪駅北口地区(組合施行)

1 計画の概要

計画地	杉並区上荻一丁目の一部		
計画の概要	商業施設の近代化と防災化を目的とした施設建築物の整備を行い、あわせて駅乗降客の歩行動線を円滑にするため立体的通路、駅前広場に接して補助広場及び通路を配置する。		
	当地区の立地条件と需要予測にもとづき、地下1階から7階までの8層は店舗と一部事務所を計画した。		
	敷地の整備としては、駅前広場に接し270㎡の広場と幅員4mの通路を配置し、この通路下に40tの防火貯水水槽を設置した。		
	白山通りに面して、1階部分に幅員3～5mの通路並びに2階部分に荻窪駅西口改札口から接続した幅員5.5m立体通路を整備し、青梅街道に建設予定の歩道橋に連絡させる。		
地区面積	約0.7ha	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	地上8階/地下3階	高さ	約38m

2 都市計画の内容

名称	荻窪駅北口地区 第一種市街地再開発事業		施行区域面積	約0.7ha		
公共施設の 配置及び規模	道路	名称	幅員	延長	面積	備考
		放射6号線 (青梅街道)	12.5～17.0m 【約25～34m】	約61m	約900㎡	()内は全幅員 整備済
	杉並区道 (白山通り)	約3m 【約6m】	約77m	約230㎡	整備済	
建築物の整備	街区	建築面積	延べ面積	建ぺい率	容積率	主要用途
		1 約5,100㎡	約48,000㎡	約80%	約650%	店舗、事務所
建築敷地の 整備	1	建築敷地面積	整備計画	備考		
		約6,200㎡	歩行者動線を確保するため、周辺通路の整備と立体的通路を設置する。			

都市計画決定: 昭和53年7月8日 東京都告示第680号

3 高度利用地区

地区名	面積	容積率の 最高限度	建ぺい率の 最高限度	容積率の 最低限度	建築面積の最低限度
荻窪駅北口地区	約0.7ha	650%	90%	200%	200㎡

都市計画決定: 昭和53年6月10日 東京都告示第591号

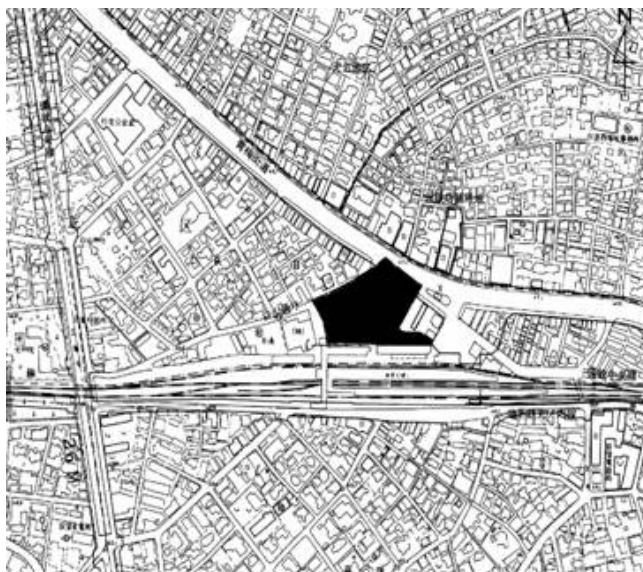
4 事業計画の概要

敷地面積	6,205㎡	建ぺい率	87.7%	
延べ面積	47,199㎡	容積率	649%	
用途	地下3階～地下2階	駐車場、機械室	住宅戸数	-
	地下1階～地上5階	店舗		
	地上6階	店舗・事務所	駐車場	132台
	地上7階	店舗		
	地上8階	会議室・事務所		
事業認可	昭和53年12月23日 東京都告示第1297号	総事業費	約79億円	

5 経緯

年 月 日	内 容
昭和46年度	荻窪駅南北地区市街地再開発事業基本計画作成
昭和51年12月	再開発検討委員会開催(8回)
昭和52年11月26日	荻窪駅北口地区準備組合設立
昭和53年6月10日	高度利用地区の都市計画決定
昭和53年7月8日	再開発事業の都市計画決定
昭和53年12月23日	組合設立認可
昭和54年7月17日	権利変換期日
昭和56年1月24日	事業計画の変更認可
昭和56年3月17日	権利変換期日(変更)
昭和56年9月25日	期工事完成 営業開始
昭和56年9月30日	管理規約の認可
昭和58年11月21日	事業計画の変更認可
	期工事完成
昭和59年1月13日	建築工事完了公告
昭和59年9月20日	組合解散

6 位置図



7 区域図



8 完成写真

